

みちくさ いたずら こどものじかん

新山 裕之



しょうせつ

小雪（22日）… かえではどんな色になるでしょう …

園庭のかえでは、桜とともに青南幼稚園のシンボルツリーとして園庭の中央で存在感を示しています。平成30年1月の大雪で南側の太い枝が折れましたが、その後も元気に晩秋から初冬にかけてきれいに色付きます。今年はどんな色付きを見せてくれるのでしょうか。

<橘始黄 たちばなはじめてきばむ 12月2日～6日>

小雪の末候は「橘始黄」です。橘（たちばな）は、古くから日本に自生している固有の柑橘類で、柑橘系の総称でもあります。その実が黄色く色付く頃ということです。

<多様な体験が得られる機会>

11月は、親子フェスタやバス遠足などの大きな行事を楽しみました。それと並行して、外部の講師にもお越しいただき、多様な体験を積み重ねることもしてきました。どの会も密を避けるために、遊戯室で学級ごとに行いました。子どもたちは丁寧な指導を受けられましたが、講師の皆さんにはそれぞれの時間は短くとも、同じ内容を4回も続けてお願いしています。子どもたちのために、労を惜しまずやっていただいていることに深く感謝しています。

<講師の先生たちから子どもも大人も学ぶ>

体を動かす会も、英語で遊ぼうも子どもたちには、体を動かしながらの楽しい体験です。幼児期は頭で理解するのではなく、体で感じる事が大切です。できることや分かることよりも、楽しさやおもしろさを感じる事が大切です。その中でもお話ろうそくは、読み聞かせのプロである崎山先生の手遊びやパネルシアターなどがとてもすてきです。お話の世界に誘われると、年少組でも語りだけの8分程度の素話をしっかりと聞くことができました。お話の世界への導入から展開の仕方を先生たちも学ぶ機会となっています。

<すてきな音色のハンドベルコンサート>

赤坂ベルクワイアの皆さんには、毎年ハンドベルのすてきな音色を聞かせてもらっています。今回の密を避けるやり方だと年少児は聞けないところだったのですが、リハーサルの様子を見ることができ、十分に楽しむことができました。年中・年長組は、いろいろな演奏方法と音色の違いを感じ、一緒に歌も歌いながら、楽しく見ることができました。ベルを鳴らす動きにつられて思わず体が動いてしまう子もいて、大満足のひとつときでした。



多様な体の使い方を楽しむ体を動かす会



英語で遊ぼうも体を動かしつつテンポよく



お話ろうそくは、いつの間にか引き込まれ



絵もパネルもない素話も集中して



年少組はリハーサルの様子をしっかりと聞かせてもらいました



年中・年長組はいろいろな演奏方法の3曲を堪能！



大きいハンドベルは3kgもあるそうです